

EV・PHV用100kW・50kW出力急速充電器

新製品を開発

ニチコン株式会社

代表取締役会長 武田 一平

京都市中京区烏丸通御池上る

(TEL. 075-231-8461)

問合せ先：上席執行役員 NECST 事業本部長

野口 直人

ニチコン株式会社は、新たに100kW出力（2口）および50kW出力（1口）のEV・PHV用急速充電器を開発し本年9月より販売を開始します。現在、ニチコンは10kW・25kW・35kW・50kWの4タイプの出力の急速充電器を生産・販売しています。今回、新製品を追加することにより2021年12月に初号機を設置頂いた200kWマルチ（6口）急速充電器と合わせて、大出力急速充電器の製品ラインアップが揃います。

新製品は新規格のCHAdeMO 2.0.1認証を取得、またOCPP通信プロトコルを搭載し最新の通信・課金システムに対応しています。製品の小型・軽量、省着床面積を特長とし設置場所の自由度を高めた省スペースモデルを開発しました。200kWマルチ（6口）・100kW出力（2口）・50kW出力（1口）の多様なラインアップで、充電渋滞削減と共に、今後のEV/PHV普及に欠かすことのできない充電インフラの普及拡大に貢献してまいります。

<100kW (NQD-UCX04P) >



<50kW (NQC-TC504P) >



<製品概要・特長>

1. 100kW モデル・50kW モデル共通

- ・最新の CHAdeMO (Rev2.0.1) 認証取得
- ・7型カラー表示ディスプレイを搭載し高いユーザビリティを実現
- ・標準モデルで塩害対応仕様を実現、重塩害対応仕様もラインアップ
- ・ニチコンから遠隔状態監視を行い障害発生時には速やかな対応が可能（保守プラン加入時）
- ・OCP通信プロトコルを搭載。株式会社 e-Mobility Power の課金サービス利用に対応
- ・万が一の電源部故障時は縮退運転（出力を低減して充電）が可能

2. 100kW モデル

- ・最大出力 100kW を最適に制御し 2 台同時充電、1 口最大 90kW 充電
- ・軽量なブーストケーブル採用により最大 90kW 出力でも楽に取り回し操作が可能
- ・2 口夫々独立した操作パネルと表示ディスプレイを搭載し、2 口同時操作が可能
- ・同出力で最小クラスの薄型、着床面積 (0.28 m²)

<主な仕様>

		100kW (NQD-UCX04P)	50kW (NQC-TC504P)
形状		一体型	
充電口数		2 口 (充電ケーブル長: 5m)	1 口 (充電ケーブル長: 5m)
充電方式		CHAdeMO Rev2.0.1	
入力	入力電圧	三相 3 線式 AC400V	三相 3 線式 AC200V
	入力容量	107kVA 以下	55kVA 以下
出力	定格出力	100kW (1 口最大 90kW)	50kW
	出力電圧	DC 150~450V	
	出力電流	0~200A	0~125A
環境	IP 等級	IP55	
	使用温度範囲	-20~+40℃	
	塩害対応	塩害対応 (標準)、重塩害対応 (オプション)	
サイズ		幅 700 mm×奥行 400 mm×高さ 1,900 mm	
表示画面		7 インチカラー (2 台)	7 インチカラー
課金認証		株式会社 e-Mobility Power 充電器管理運用サービス	

ニチコン株式会社 概要

所在地：京都市中京区烏丸通御池上る

代表者：代表取締役会長 武田 一平

設立年月日：1950 年 8 月 1 日

資本金：14,286 百万円 (2022 年 3 月 31 日現在)

従業員数：5,587 名 (2022 年 3 月 31 日現在 連結)

事業内容：アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、小形リチウムイオン二次電池、正特性サーミスタ“ポジアール®”、家庭用蓄電システム、V2H システム、EV・PHV 用急速充電器、公共・産業用蓄電システム、スイッチング電源、機能モジュール、医療用加速器電源、学術研究用加速器電源、瞬低・停電補償装置など

売上高：142,198 百万円 (2022 年 3 月期 連結)

以上